



令和7年10月10日

同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

ひがしひろしま あ き
一般国道2号東広島・安芸バイパスが全線開通
したことによる、最新の整備効果をお知らせします！
～地域活性化・企業活動・交通安全など、各分野で効果実感～

令和5年3月19日（日）に一般国道2号東広島・安芸バイパスが全線開通して約2年が経ちました。地域活性化や企業活動の支援、暮らしの安全性の向上など、多方面で発揮している最新の整備効果をとりとめましたので、お知らせします。

＜概 要＞

【バイパスへの交通転換】

○バイパスに並行する国道2号の交通量が約3割～7割減少し、バイパスへ交通転換しています。

【地域活性化の促進】

○東広島市と広島市との時間短縮による、交通便利性の向上により、東広島市の移住・定住促進の取り組みの支援に繋がっています。

【企業活動の支援、物流の定時性確保】

○製品輸送ルート of 所要時間ばらつきが緩和され、定時性の確保に繋がっています。

【道路の安全性が向上】

○開通前に比べ、国道2号の死傷事故件数が約6割減少しています。

その他にも、様々な整備効果が上がっています！

（問い合わせ先）

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所

副所長 宮田 修（みやた おさむ）

【担当】計画課長 小林 佳太郎（こばやし けいたろう）

TEL (082) 281-4133

FAX (082) 286-7897

○広島国道事務所ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>



広島国道事務所HP



X(旧Twitter)
二次元バーコード

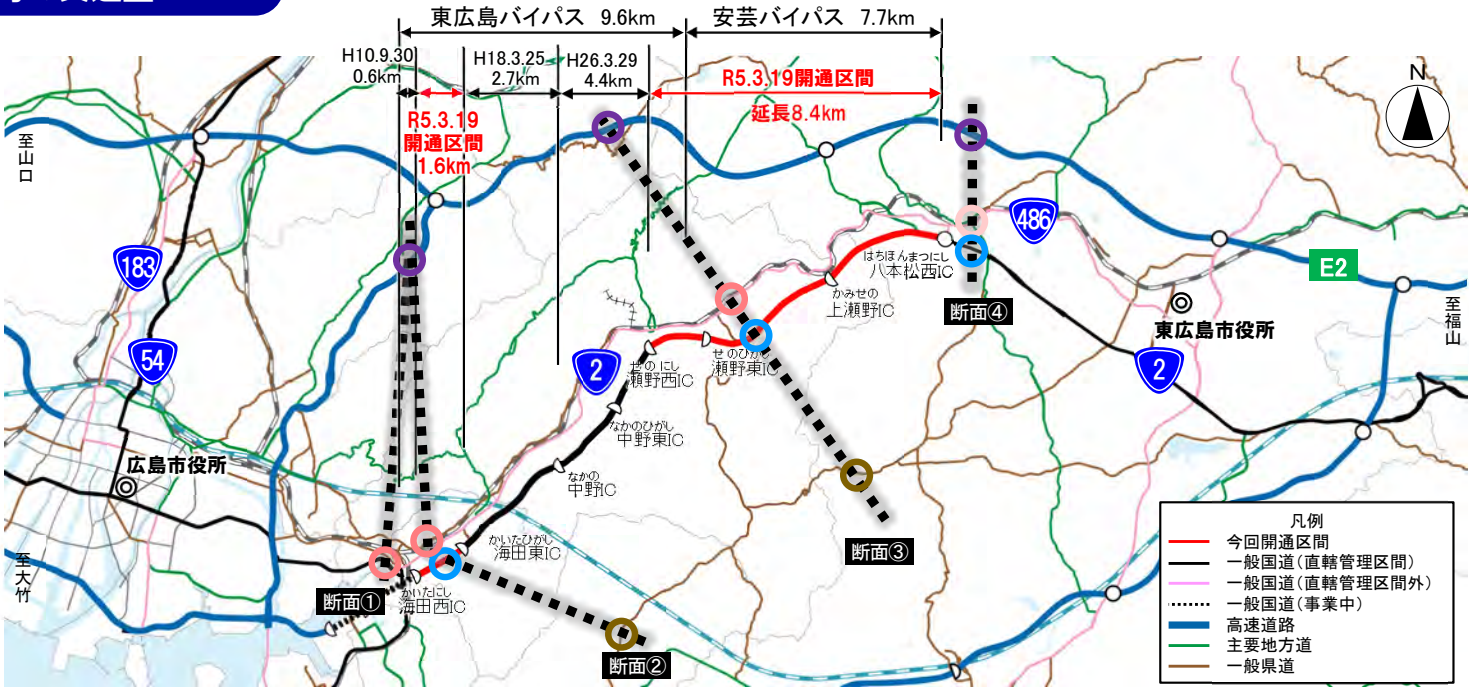
整備効果 交通円滑化

一般国道2号 東広島・安芸バイパス

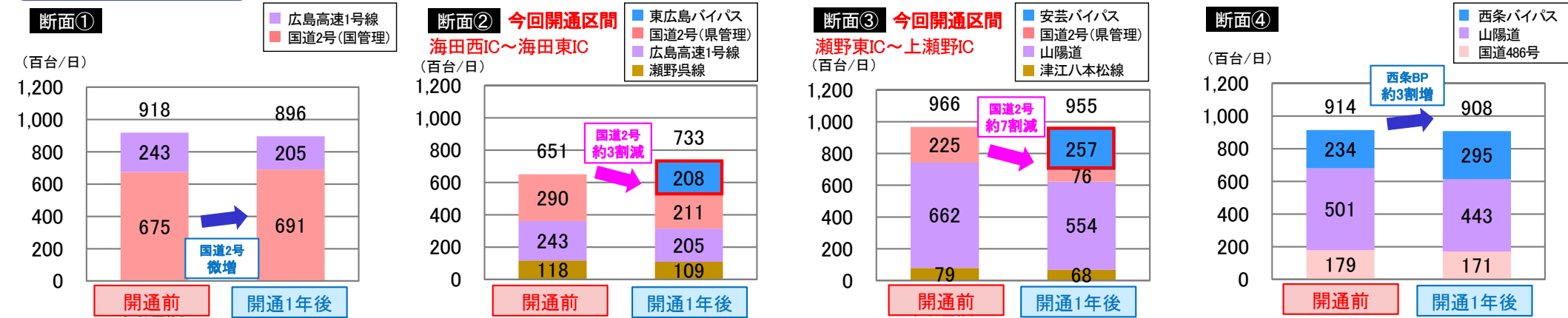
バイパスへの交通転換

○今回開通区間1年後における**バイパスの交通量は約208～257百台/日**です。
国道2号の交通量は約3～7割減少し、周辺の道路からもバイパスへ交通が転換しています。

バイパスと国道2号の交通量



断面交通量の変化



出典: 交通量調査結果【開通前】R4.11.10(木)、【開通1年後】R5.11.7(火) ※【開通前】「瀬野呉線」「津江八本松線」は令和3年度全国道路・街路交通情勢調査、2号線の一部はR4交通量調査結果より

整備効果 地域活性化

経済成長・
物流強化

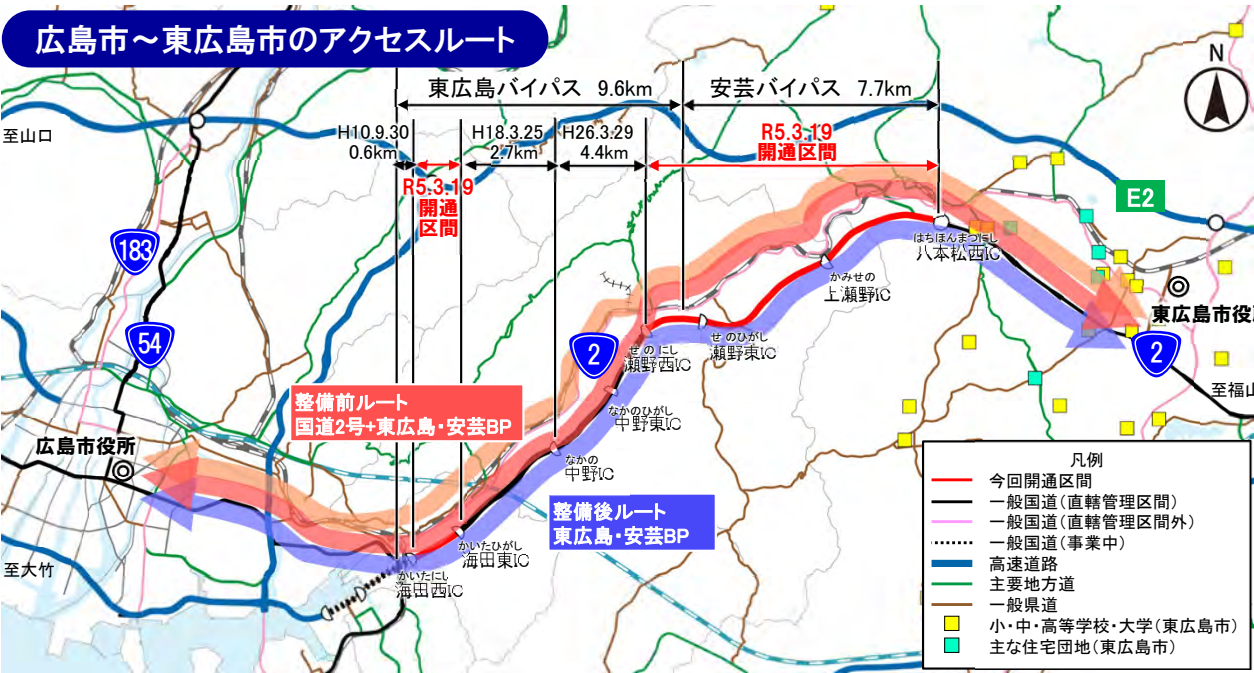
一般国道2号 東広島・安芸バイパス



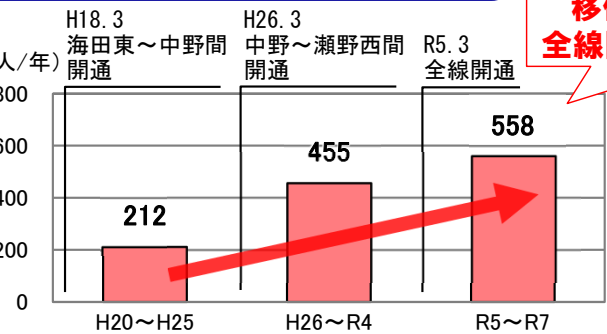
東広島市における移住・定住の促進

○東広島市は広島市の近隣市として位置しており、学園都市という性質に加え産業も集積が進んでおり、居住環境の整備など多様な移住・定住の取り組みを行っています。しかしながら、バイパス開通前は広島市へのアクセス道路は国道2号しかなく、交通混雑により、特に朝夕ピーク時の通勤所要時間が長くなっていました。

○バイパスが全線開通したことで広島市内への所要時間短縮が図られ、アクセス性向上を移住・定住促進のアピールポイントとするなど、東広島市が地域活性化への取り組みを支援しています。



東広島市転入人口・転出人口の変化



移住・定住者の増加が
全線開通以降、さらに進展

東広島市における移住・定住の取り組み

- 【情報発信】
東広島市の移住に係る情報(仕事、住まいなど)を一元的に提供
⇒移住支援サイト「風と自由と東広島」
- 【支援制度】
住まいに関する支援⇒「空き家バンク」など
東広島市の人口減少地域で起業をめざす方等への支援
⇒移住者等創業及び事業承継支援事業補助金
東広島市への就職活動・移住する方への支援
⇒地方就職支援金
東京圏から東広島市へ移住して就職・テレワーク・起業等される方への支援
⇒移住支援金

▼移住支援サイトを開設

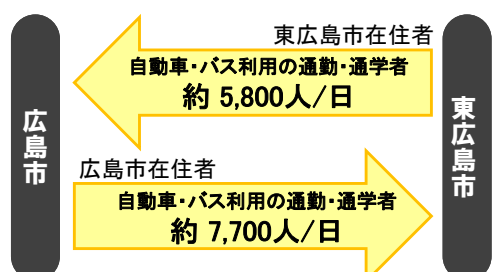
出典: 移住支援サイト「風と自由と東広島」

所要時間の変化(広島市⇄東広島市)



出典: ETC2.0プローブデータ
【バイパス全線未整備】H9道路交通センサスの混雑時旅行速度
【バイパス一部整備】R4.10平日 7,17時台平均
【バイパス全線整備】R6.10平日 7,17時台平均

自動車・バスによる通勤・通学者



資料: 令和2年国勢調査

自治体の声

・広島市への近接性が魅力ですが、交通渋滞が慢性化しており、広島市までの道路距離に対して実際の通勤時間が長くなっていることが、移住が進まない1つの要因となっていました。

・東広島市の転入人口は近年増加傾向にあり、令和4年で過去最大となりました。移住相談の問合せも定期的に入っており、東広島・安芸バイパスの開通が東広島市の地域活性化につながると思っています。



東広島市地域振興部地域づくり推進課 ヒアリング結果(R7.7)

整備効果 物流

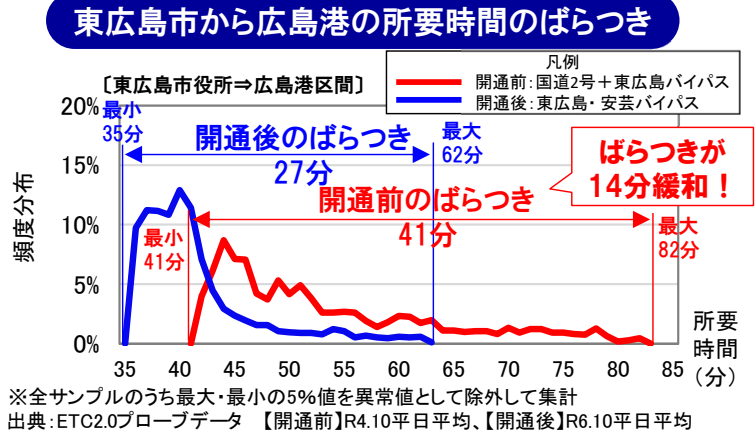
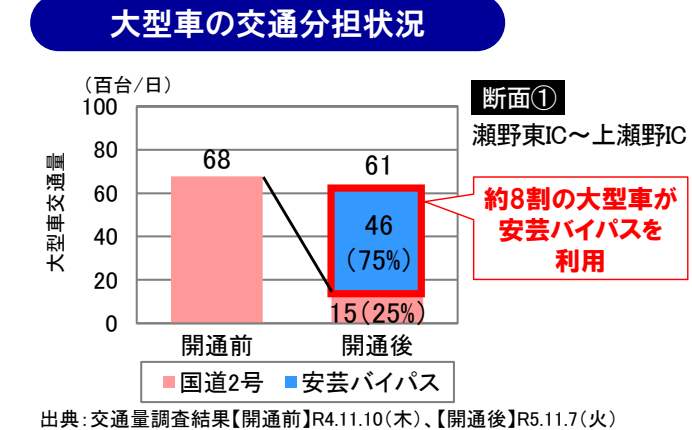
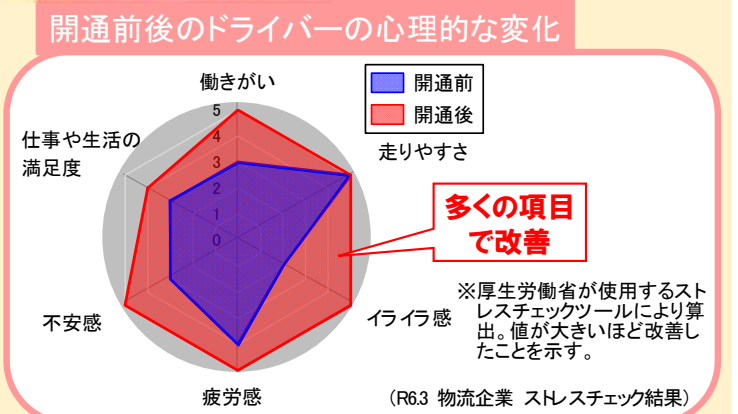
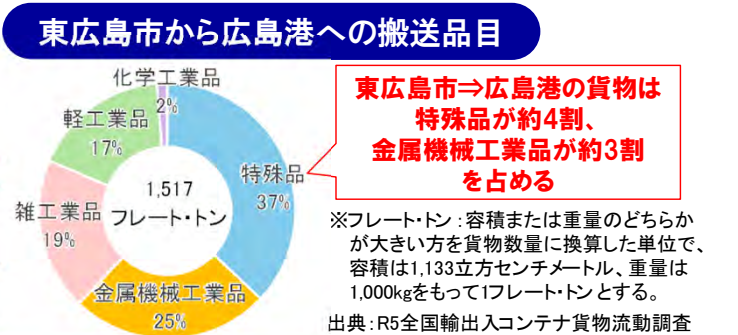
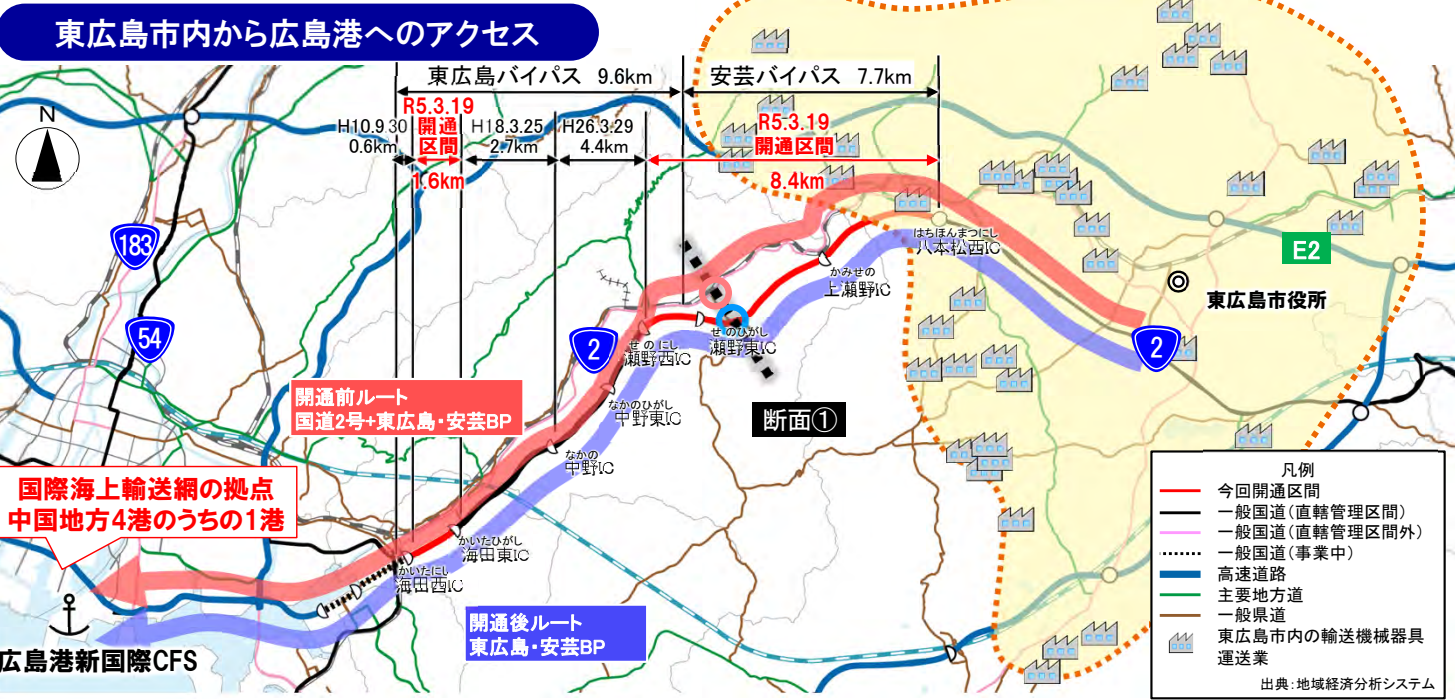
定時性の確保

経済成長・
物流強化

一般国道2号 東広島・安芸バイパス

○東広島市には多くの工業団地が集積し、特殊品や金属機械工業品等が国際拠点港湾である広島港に国道2号を経由して輸送されていますが、渋滞等の発生による広島港への所要時間のばらつきにより、予定時間に目的地に到着できないことが課題でした。

○バイパスの全線開通により、東広島市から広島港の所要時間のばらつきが緩和され、到着時間を予測しやすくなるとともに、出航時間に余裕をもって間に合うようになり、ドライバーの心理的な負担の軽減等にも波及効果が広がっています。



物流企業の声

・1日3便の時間指定で東広島から広島市方面に輸送しています。

・東広島・安芸バイパスが全線開通するまでは、納品先までの時間が予測できず、ストレスを抱いたまま納品作業になることが多々ありました。

・東広島・安芸バイパスが全線開通したことで安定した到着時間が予測できるようになり、余裕を持って作業に取り組むことができます。

出典:東広島・安芸バイパス全線開通に関する沿線企業へのアンケート調査結果(R6.2)

整備効果 企業活動

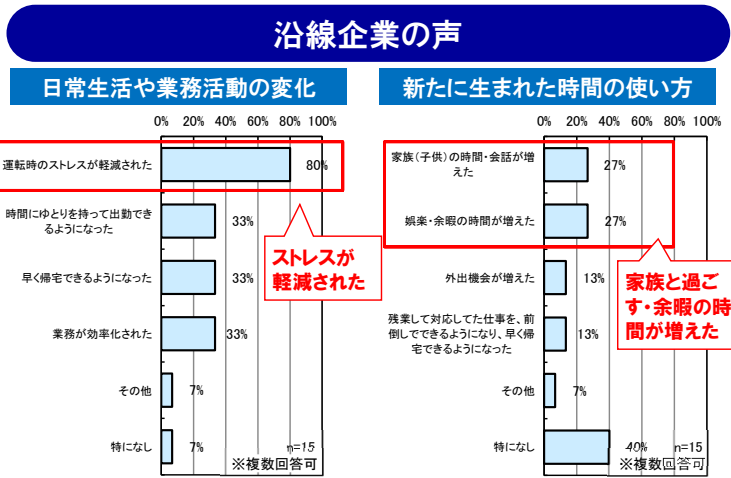
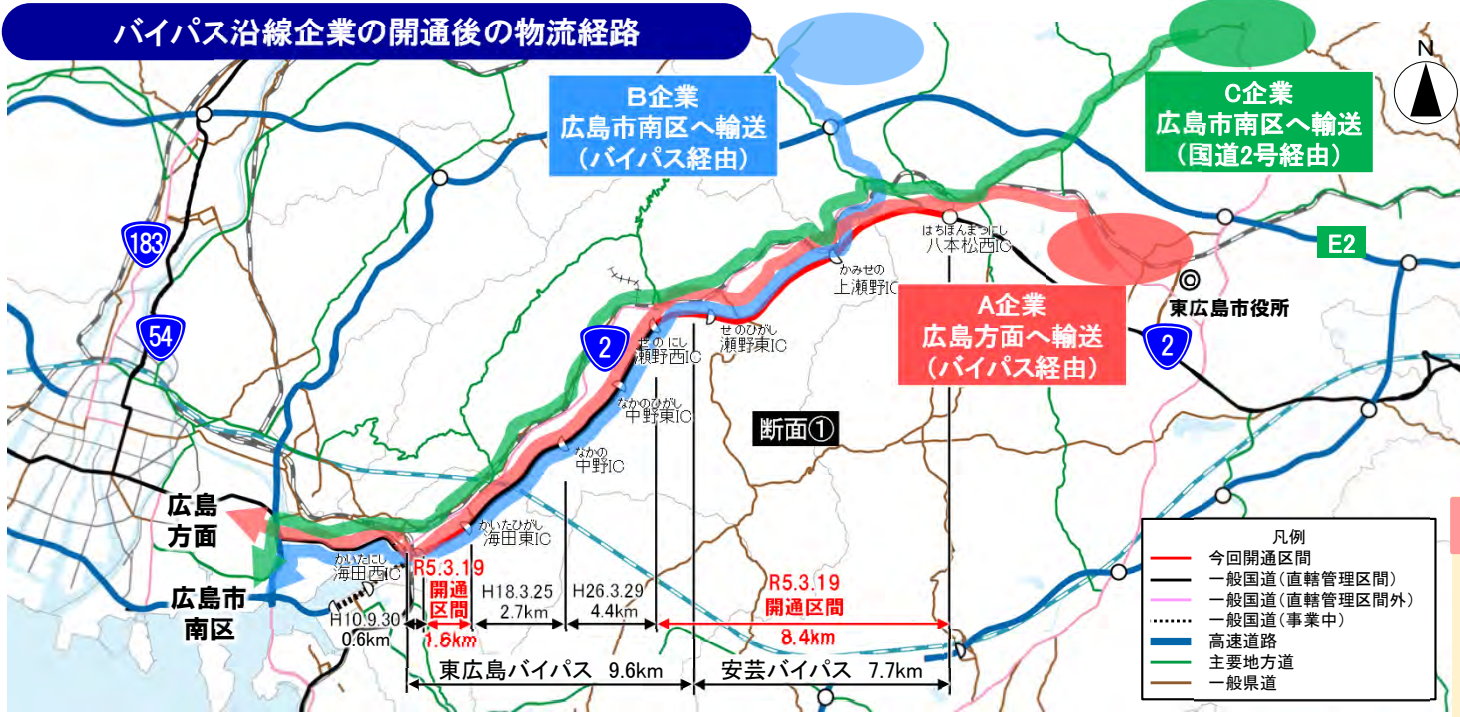


一般国道2号 東広島・安芸バイパス

バイパスや国道2号を利用する企業の方々の声

○バイパスを利用する企業の方々からは、**バイパスの全線開通により渋滞が緩和した(約9割)、安全性が向上した(約7割)、快適に走行できる(約9割)との回答**をいただいています。

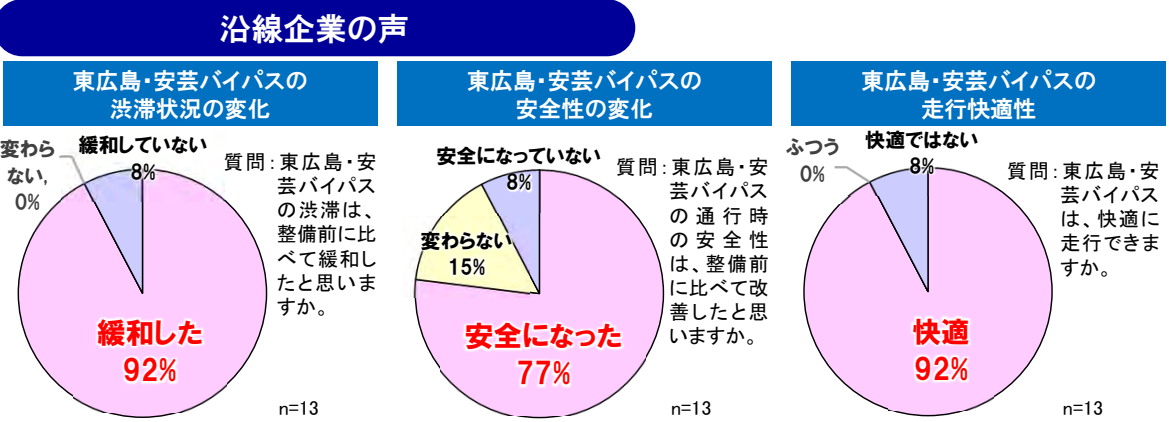
○その他、「**運転のストレスが軽減した**」「**家族と過ごす時間・娯楽余暇の時間が増えた**」等の**業務活動や日常生活の変化、新たに生まれた時間の使い方**に関して**効果を実感**する声が寄せられています。



東広島・安芸バイパスを利用する沿線企業の声

・国道2号と東広島・安芸バイパスのダブルネットワークによって、**東広島～広島市内の往復時間が30%程度短縮され、渋滞を回避できるようになりました。今までのストレス軽減にも繋がりがたいです。**

A企業
B企業
C企業



整備効果 空港



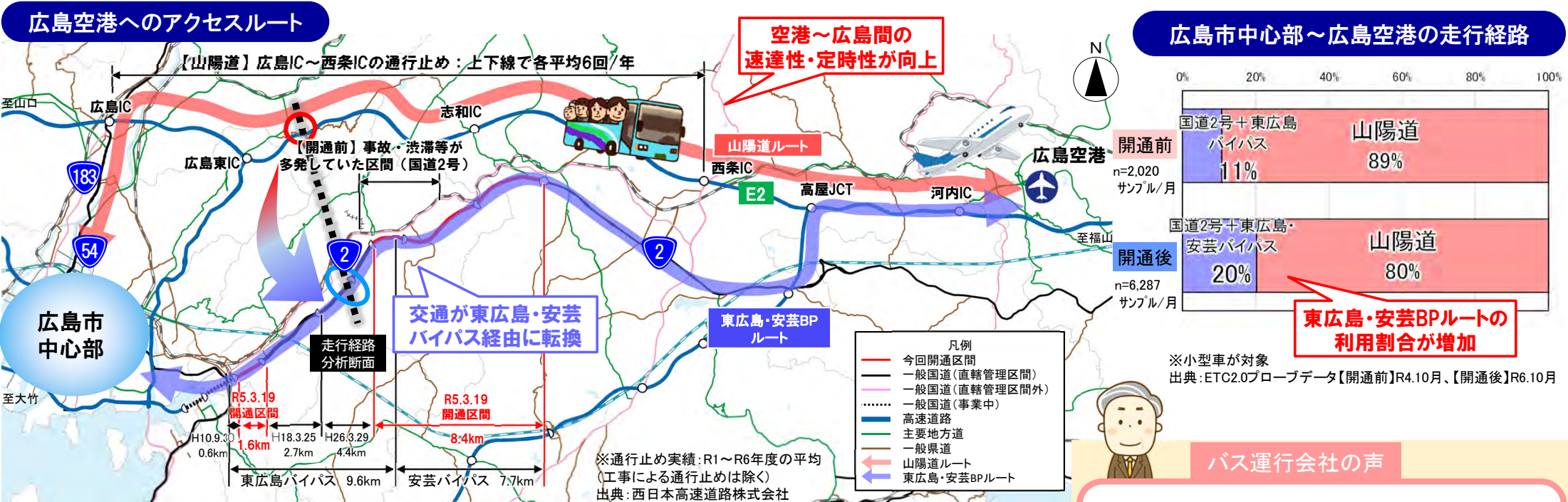
一般国道2号 東広島・安芸バイパス

空港利用の促進・周辺地域の活性化

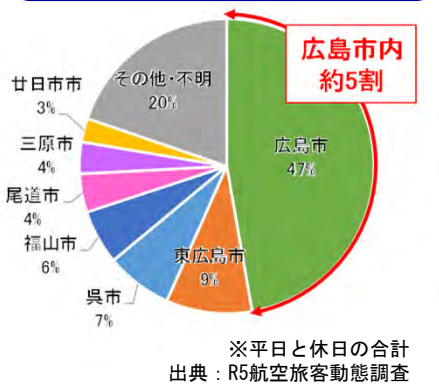
○広島空港利用者の約5割は発着地が広島市内であり、空港バス等、その多くが山陽自動車道を利用してアクセスしていますが、**山陽自動車道は交通集中による渋滞が多数発生しており、運行の安定性が損なわれる機会がありました。**

○東広島・安芸バイパスの全線開通により、**空港へのダブルネットワークが形成され、東広島・安芸バイパス利用の割合が増加しています。**

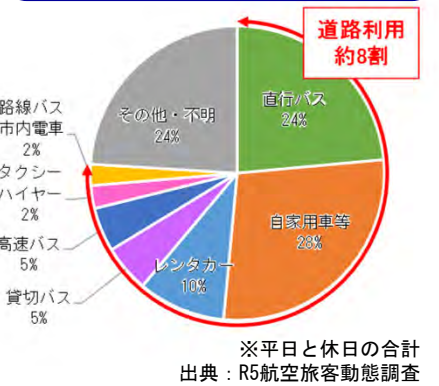
その結果、山陽道の渋滞が約8割軽減するなど速達性・定時性が向上し、空港利用の促進や周辺地域の活性化を支援しています。



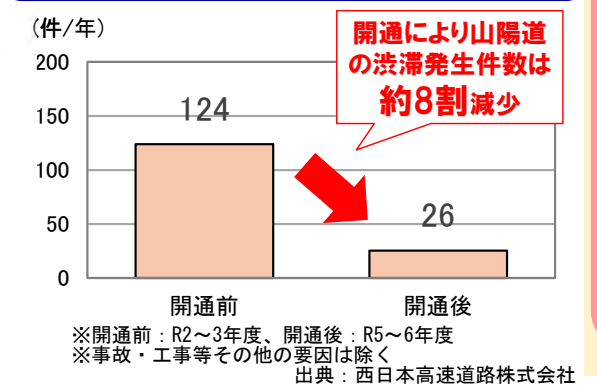
広島空港利用者の発着地



広島空港利用者の交通手段



山陽道(広島東IC～志和IC)の渋滞発生件数



バス運行会社の声

- 東広島・安芸バイパスの全線開通により一般車両等の交通が転換することで、**山陽自動車道では、朝ラッシュ時における広島東IC～志和IC間の交通量が減少しています。**
- お客様のためにも飛行機の出発に確実に合わせて運行する必要があるため、**広島空港リムジン線の移動時間の短縮や、定時性の向上の効果は大きいです。**
- また、**山陽自動車道で一般車両による事故が発生した場合でも、開通前のような通過に相当の時間を要する著しい渋滞が減少したと感じております。**
- 東広島・安芸バイパスは、迂回経路のひとつとして検討しています。

(R7.7バス運行会社 ヒアリング結果)

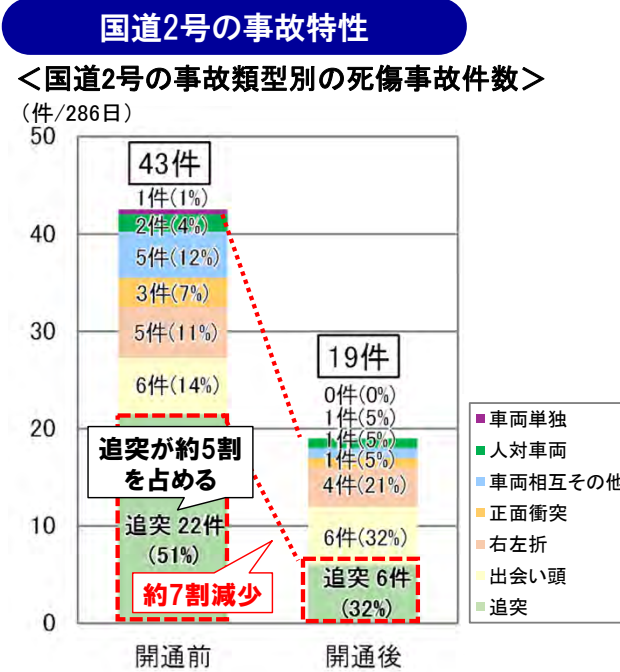
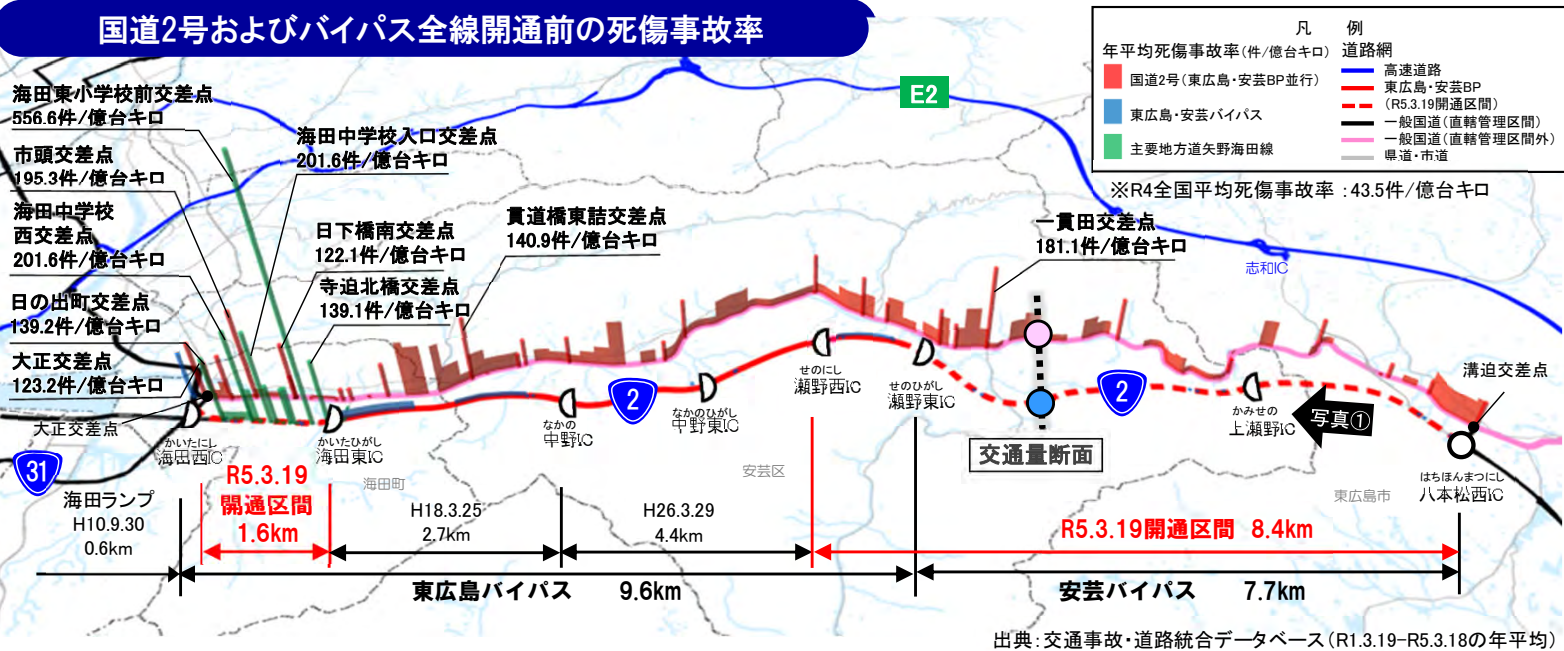
整備効果 事故



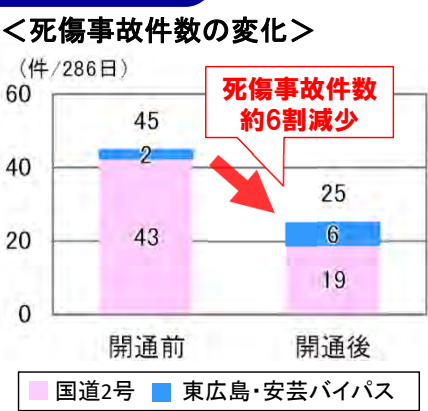
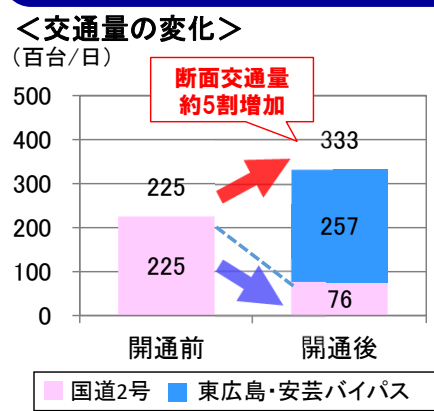
一般国道2号 東広島・安芸バイパス

交通分散による死傷事故の減少

○バイパスの全線開通前の国道2号で発生していた死傷事故は、渋滞等起因しやすい追突事故が約5割を占めていました。
○バイパスの全線開通により交通分散が図られ、国道2号及びバイパスの合計死傷事故件数は約6割減少しています。特に追突事故は約7割が減少しており、安全性の向上に寄与しています。

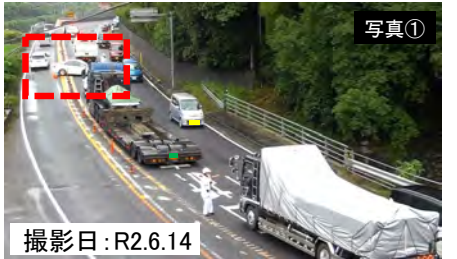


全線開通による交通量・死傷事故件数の変化



国道2号の事故発生状況

<乗用車事故による渋滞(R2.6.14)>



撮影日：R2.6.14

警察の声

・バイパスに並行する国道2号は、広島～東広島間の通勤車両や物流車両が多いことが特徴です。開通前は、様々な交通が混在・集中していることで渋滞がたびたび発生し、渋滞によって発生する交通事故が多い状況でした。

・東広島・安芸バイパスの全線開通により、国道2号の交通量が減少し、渋滞が緩和することで、**渋滞に起因する追突事故が減少**しています。

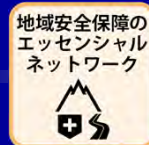
広島県警察本部 ヒアリング結果(R6.1)

出典：開通前：交通量調査 (R4.11.10(木))
開通後：交通量調査 (R5.11.7(火))

※【集計区間】国道2号：大正交差点～溝迫交差点、東広島・安芸バイパス：海田西IC～八本松西IC
出典：開通前：交通事故・統合データベース (R1～R4の各年3.20～12.31の286日間平均)
開通後：交通事故・統合データベース (R5.3.20～R5.12.31 (286日間))

整備効果 防災

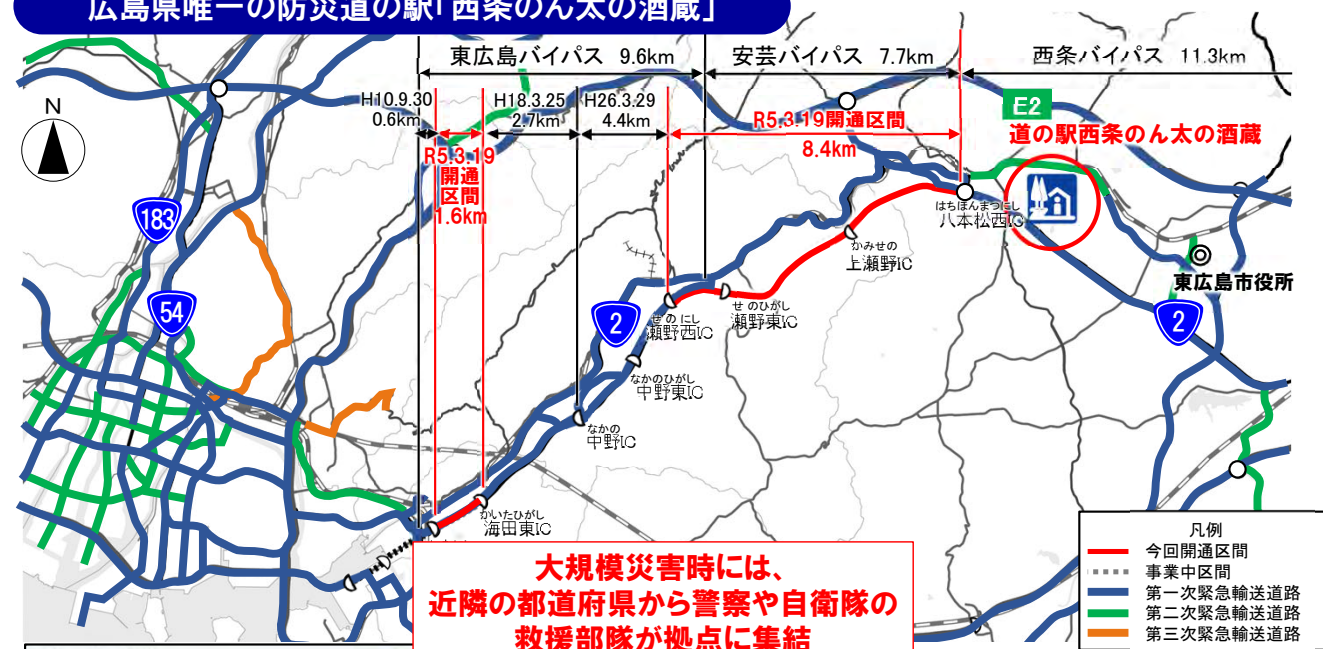
道の駅を拠点とした防災機能の強化



一般国道2号 東広島・安芸バイパス

- 「西条のん太の酒蔵」は「防災道の駅」に選定されており、**バイパス全線開通により、新たなリダンダンシーの確保がされたことにより、災害時に迅速にアクセスできるようになりました。**
- また、「西条のん太の酒蔵」は、県の防災計画において「**救援部隊集結拠点（警察・自衛隊）**」、市の防災計画において「**防災拠点施設**」「**自家用車用避難場所**」として位置付けられており、**地域の方々からは、アクセス性向上により災害時の備えとして安心できるようになったとの声を多くいただいています。**

広島県唯一の防災道の駅「西条のん太の酒蔵」

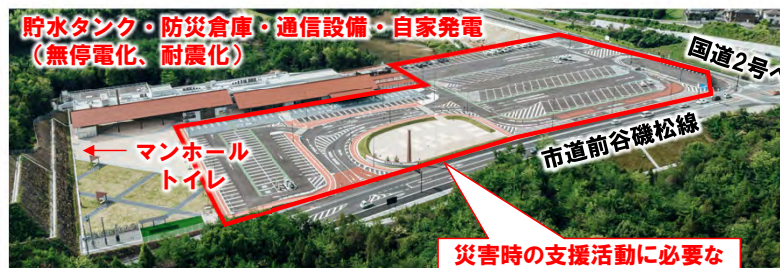


**大規模災害時には、
近隣の都道府県から警察や自衛隊の
救援部隊が拠点に集結**

防災道の駅「西条のん太の酒蔵」 (広島県東広島市)



道の駅西条のん太の酒蔵



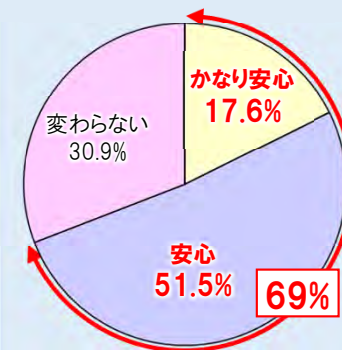
貯水タンク・防災倉庫・通信設備・自家発電
(無停電化、耐震化)

災害時の支援活動に必要な
スペースとして、2,500m²
以上の駐車場を保有

出典：道の駅「西条のん太の酒蔵」HP

防災拠点へのアクセス向上による 災害時の安心感の高まり

約7割が安心と回答



※防災拠点としての、道の駅「西条のん太の酒蔵」が選定されていることを「知っている」と回答された方を集計

出典：webアンケート調査結果 (R5.9) n=68

《道の駅での防災訓練の様子》



※東広島市総合防災訓練 (R5.8) にて、東広島市と道の駅が協力してマンホールトイレ設置訓練を実施

自治体の声

- 東広島・安芸バイパスが開通した令和5年3月、『東広島市地域防災計画』の中で、道の駅西条のん太の酒蔵を「**防災拠点施設**」、道の駅の駐車場を「**自家用車用避難場所**」として位置付けました。
- 令和5年8月に実施した『東広島市総合防災訓練』では、道の駅西条のん太の酒蔵で、マンホールトイレ設置訓練等を行いました。その後も毎年、消防・防災イベントを開催しています。
- 東広島・安芸バイパスの全線開通により、これから発生する可能性のある大規模災害発生時には、**緊急輸送道路の一つとして機能することが期待されます。**



東広島市総務部危機管理課 ヒアリング結果 (R7.7)

整備効果 環境



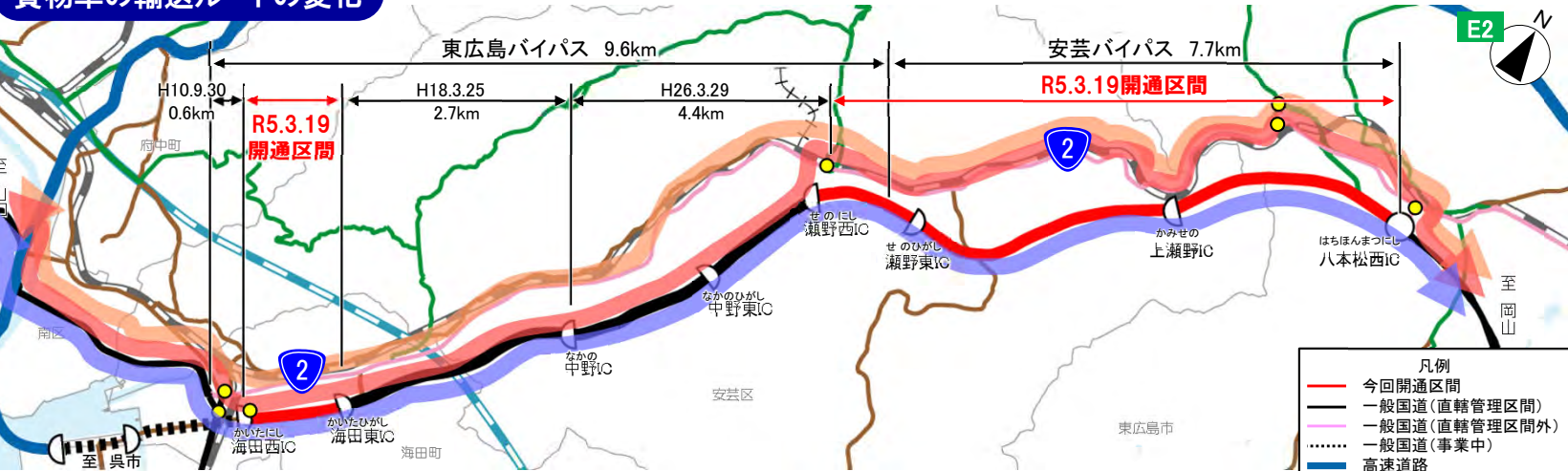
一般国道2号 東広島・安芸バイパス

燃費の向上やCO2排出量の削減によるSDGsへの貢献

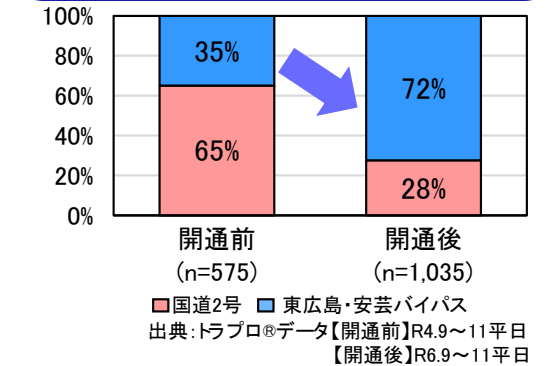
○東広島市～広島市内間の貨物車の輸送ルートは、バイパス全線開通前では「国道2号利用」が約7割を占めており、国道2号は交通集中により速度低下が発生していました。

○今回の全線開通により、貨物車がバイパス利用に転換し、「東広島・安芸バイパス利用」が約7割となっています。また、スムーズな走行が可能となったことから、開通後のバイパスと国道2号を比較すると、貨物車の燃費やCO2排出量が約2割減少するなど、環境に良い輸送が実現しています。

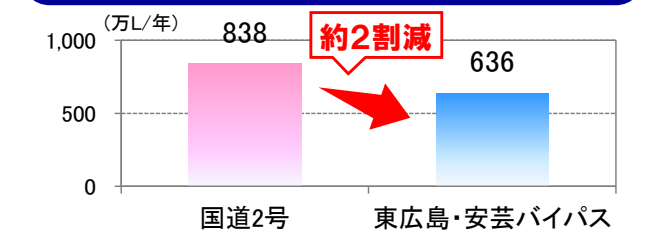
貨物車の輸送ルートの変化



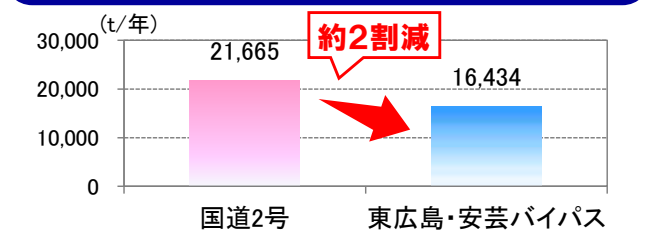
東広島市⇄広島市内方面を走行する貨物車の国道2号・バイパス利用割合



開通後の走行貨物車の燃料消費量の削減



開通後の走行貨物車のCO2排出量の削減



所要時間の変化(広島市⇄東広島市)



削減量※は貨物車の年間給油量の約90台分に相当



※トラブロ®データから把握した国道2号、東広島・安芸バイパスそれぞれを走行する大型車の「燃費※①」をもとに、「大型車断面交通量 (R5.11.7(火)調査)※②」が年間平日日数(245日)の期間、走行したと仮定して算出した結果
※①: 国道2号 3.7km/L、東広島・安芸バイパス 4.6km/L ※②: 国道2号+東広島・安芸BP: 6,146台/日
※1台あたりの平均年間燃料消費量を約2.26万L(国交省及びトラック協会資料より)として削減台数に換算

削減量は、マツダスタジアムの面積※の約118倍の森林吸収量に相当

※杉林のCO2吸収量を8.8t/ha年(林野庁HP)、マツダスタジアムの面積を5.05ha(Mazda Zoom-ZoomスタジアムHP)として換算
出典：トラブロ®データ R6.9～11平日 東西平均

道路利用者の声

・所要時間が短縮するとともに、納品時間や帰社時間が計算しやすくなりました。また、ドライバーの拘束時間が短くなっています。

・信号待ちが少なくスムーズに走行できるため、燃費が向上しているという実感があります。

広島県トラック協会 ヒアリング結果(R7.7)

整備効果 地域の声

バイパス開通による生活の変化

道路開通によって
家族時間・娯楽時間が増えました!!

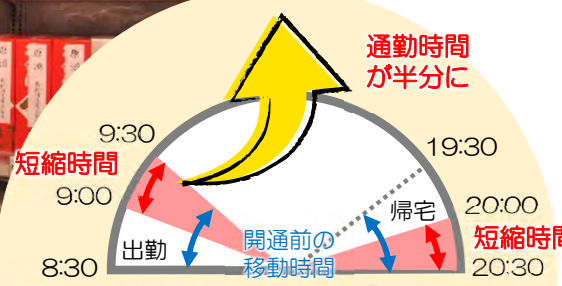
道路開通によって、地域の皆さんの生活が変わってきています。その変化の事例をご紹介します。

通勤



道の駅「西条のん太の酒蔵」駅長

広島市南区に住んでいますが、通勤がとても便利になりました。30分ぐらいで道の駅まで来れるようになりました。バイパスができたことで道の駅が目的になり、昨年度より来客が増えています。



通勤時間が半分に

短縮時間

9:30 19:30

9:00 20:00

8:30 20:30

出勤 帰宅

開通前の移動時間

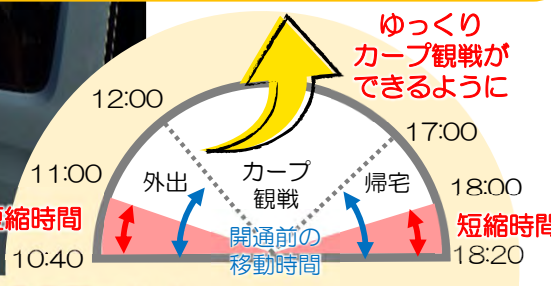
通勤が便利になり、好きなテレビを見られるようになった!

娯楽



道の駅利用者

バイパスができたことで、11時に安芸津を出て12時半には広島市内に着くようになり、帰りも早く家に帰れるようになりました。知り合いからは、早く到着できるようになったので、駅前で買い物をしてからスタジアムに観戦に行けるようになったと聞いています。



ゆっくりカーブ観戦ができるように

短縮時間

12:00 17:00

11:00 18:00

10:40 18:20

外出 カープ観戦 帰宅

開通前の移動時間

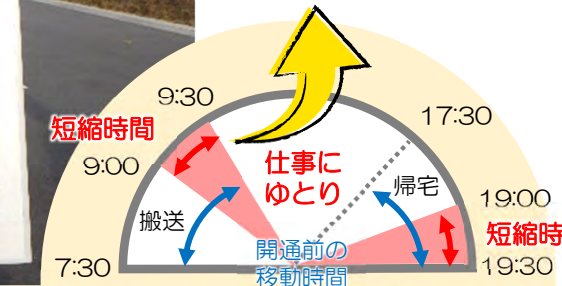
カーブ観戦へ!! 一早く応援に!!

業務



道の駅「西条のん太の酒蔵」商品搬入者

広島市内のデパートやひろしまゲートパークなどに竹原のお肉を出品することがありますが、バイパスの開通までは高速道路を使っていました。今ではバイパスに配送ルートを変更しましたが、ゆとりを持って配送できています。



仕事にゆとり

短縮時間

9:30 17:30

9:00 19:00

7:30 19:30

搬送 帰宅

開通前の移動時間

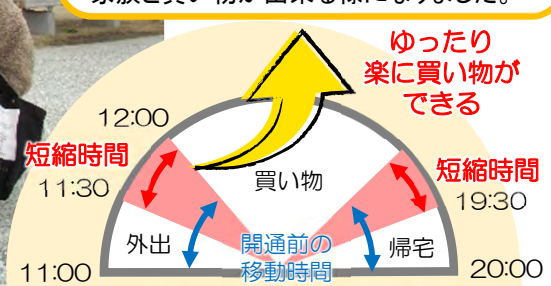
竹原産物を道の駅へ! 市内へ! ゆとりをもってお届け!

日常生活



道の駅利用者

バイパスの開通により、広島市内に買い物へ行く機会が増えました。市内への到着にかかる時間が30分程度短くなり、19時30分に広島市内を出発しても20時頃には帰宅できるので、市内でゆったりと家族と買い物ができるようになりました。



ゆったり楽に買い物ができる

短縮時間

12:00 19:30

11:30 20:00

11:00

外出 買い物 帰宅

開通前の移動時間

毎週市内へ遊びに行ける! ごはんがゆっくり食べられる!